

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6年 6月 6日更新

事務事業名		土砂災害危険住宅移転促進事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康			所属部	都市建設部	課長名	原田 和彦
	施策	15	防災対策の推進			所属課	建設課	担当者名	木村 日向子
	施策の柱	48	災害予防対策			所属班	工務班	(内線)	5257
予算科目	会計一般	款 3	項 4	目 1	事業連番 11761	根拠法令	熊本県及び合志市土砂災害危険住宅移転促進事業補助金交付要綱		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 5年度で終了 <input type="checkbox"/> 5年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 31 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)等内の居住者の生命及び身体を保護するため、土砂災害危険住宅からの移転を行うものに対し補助金を交付する事業である。 合志市内の土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)等内に居住されている方が合志市又は熊本県内の他市町村へ移転する場合や、熊本県内の土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)等内に居住されている方が合志市へ移転する場合は本事業の対象となる。
【業務の流れ】	(移転者・合志市) 補助金交付申請→着手届→実績報告→補助金請求→確認→補助金交付  (合志市・熊本県) 補助金交付申請→着手届→実績報告→補助金請求→確認→補助金交付
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金(補助金)
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO)	今年度の補助金交付の実績は0件であった。	6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
【基準に達しなかった理由】今年度の申請が無かったため。		交付申請書の受領後、内容精査を行い補助金の交付を予定。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件	予算の主な増減の理由
→ア:土砂災害特別警戒区域からの移転、住宅を再建する等対象者	→イ:	
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位) 件	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
土砂災害特別警戒区域等内に居住されている方で、土砂災害危険住宅から移転を行う者	→ア:交付金申請者件数	→イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位) 件	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
土砂災害危険住宅から移転することにより、災害による被災を未然に防ぐ	→ア:交付金受領者件数	→イ:
*③成果指標設定の理由と6年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画 ~ 年度
成果指標は本事業の対象となる交付金申請者の件数とし、目標値は移転完了に基づく交付金受領者の件数とした		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	3年度実績(決算)	4年度実績(決算)	5年度目標(当初予算)	5年度実績(決算)	6年度目標(当初予算)	7年度予定	8年度見込	9年度見込	
①活動指標	ア	件	1	0	1	0	1	1	1	1	
	イ										
②対象指標	ア	件	1	1	1	1	1	1	1	1	
	イ										
③成果指標	ア	件	1	0	1	0	1	1	1	1	
	イ										
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円	3,000		3,000		3,000	3,000	3,000	
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A)事業費計	(A)事業費計	千円	3,000	0	3,000	0	3,000	3,000	3,000	3,000
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	3	3	3	9	3	3	3	3
		延べ業務時間	時間	40	60	40	45	40	40	40	40
(B)人件費計	千円	156	228	159	163	159	159	159	159		
トータルコスト(A)+(B)	千円	3,156	228	3,159	163	3,159	3,159	3,159	3,159		

事務事業名	土砂災害危険住宅移転促進事業	所属部	都市建設部	所属課	建設課
-------	----------------	-----	-------	-----	-----

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は5年度の事後評価、ただし複数年度事業は5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	② 6年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 移転申請があった場合に補助金を交付する。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 移転者の有無による。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 土砂災害危険住宅移転促進事業においては、庁舎内でも建設課のみ実施しており類似事業はない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 熊本県からの補助金を市が受領し、市から申請者へ交付する事業であるため削減余地はない。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 補助金交付の事務手続きについては適正に行う必要があることから、正規職員以外の職員は担当することができない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 土砂災害特別警戒区域 (レッドゾーン) 内に居住する方は全て対象者であるため、公平・公正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 土砂災害特別警戒区域 (レッドゾーン) は市の管理であるため民間委託等はできない。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

土砂災害特別警戒区域等内の居住者の生命及び身体を保護するため、土砂災害危険住宅からの移転を行う者に対し補助金を交付する事業であることから、継続は妥当である。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						